

ぐるっと
250キロ

羽 茂

羽茂地区幼老運動会



10月1日(土)羽茂B&G海洋センター体育館を会場に第32回羽茂地区幼老運動会が行われました。この運動会は、長寿の羽茂地区の保育園児とお年寄りが合同種目を共に競技することにより、お年寄りは園児から「元気をもらい」、園児はお年寄りから「やさしさをいただく」ことを趣旨に長期に渡り実施されております。今年はいいにくの雨で屋内開催となりましたが屋外と違って選手が身近に観られ、園児達やお年寄りの真剣なプレーに会場に集まった約400人の選手・応援団の拍手や声援が狭い体育館にいつでも鳴り響いていました。



ぐるっと
250キロ

2000年ブナの森下刈り

金 井 10月6日(木)平清水(金井地区)地内ブナ植林地にて、下刈が行われました。これは、2000年(平成12年)に旧金井町の木であったブナを植樹したもので、今回で下刈は5回目となります。秋晴れの中、金井中学校の生徒約180名と先生



方の他、地域からお手伝いに出てきていただいた方、佐渡森林組合及び県・市職員により、下草刈が行われました。苗木には一本一本に竹で作った名札が掲げてあり、自分の名前の付いている苗木の周辺を一所懸命綺麗にして

いる姿がありました。3年生にとっては3回目の下刈になるとあって、3年間での苗木の成長に驚き、感心している生徒も見受けられました。

ブナの森は、保水力が高く洪水を防ぎ土砂崩れを防ぐことができる 酸素を生産する天然の空気清浄機であり、野生動物の食料確保ができることにより人と野生動物の棲み分けを助長する 優秀な魚付き林を形成するなど、これからの佐渡にとって大事な森です。

ぐるっと
250キロ

まのワクワクまつり

真 野 10月9日(日)真野公園を会場に「まのワクワクまつり」が開催されました。

地元バンド「ヒンテージ」による演奏でスタートし、次に子供たちが楽しみにしていた「マジレンジャーショー」では、大勢の子供たちがステージ上のヒーローに声援を送っていました。その後の記念撮影会も好評で、長蛇の列ができていました。また、真野の特産品が当たる宝探しゲームや食べ歩き屋台村、地酒の試飲など盛りだくさんで、まつりは大勢の家族連れなどでにぎわいました。



ぐるっと
250キロ

新 穂

鬼の集いに満員御礼

10月9日(日)第15回鬼太鼓inにいぼ 朱鷺夕映え市が開催されました。93店舗の商店が多種多様な商品を揃えて軒を連ね、ステージでは島内各地の鬼太鼓が披露されました。新穂が誇る1大イベントは昨年を凌ぐおよそ13,000人が集まりました。

出演者の中には大人顔負けの舞を見せる子供がいたり、また、観客では身振りを真似てみる方や朝から晩まで観賞する熱狂的な親子がいたりとお若男女を問わない鬼太鼓の人気にステージの周りには大きな人山ができて、迫力ある演舞に拍手喝采が送られました。



ぐるっと
250キロ

第25回赤泊人生駅伝大会 徳和チーム5連覇達成!!

赤泊

5連覇達成だ!!
石塚恵介選手ゴール



10月10日(月)体育の日、「第25回赤泊人生駅

ワンツーフィニッシュで華を添える

伝大会」が地区本選の部7チーム(7区間)・オープン参加の部(6区間)13チームが参加して、秋晴れの下健脚を競いました。徳和ヴィクトリーは序盤から2位をキープし、第3区からトップに立つと安定した走り最後まで独走し、見事優勝して徳和チームの5連覇達成となりました。また、もう一組参加の徳和チャレンジも2位に入り、ワンツーフィニッシュで二重の栄冠となりました。オープン参加の部は、「本気になったら大川」チームが優勝しました。今年は区間の大会新記録が7つも出るなど、ハイレベルな大会となりましたが、参加した選手の皆さんはいい汗をかいて、スポーツの秋を実感していたようです。

大会成績(地区本選の部)1位 徳和ヴィクトリー 2位 徳和チャレンジ 3位 南部アスリ
ーターズ 4位 赤泊 5位 三川 6位 南部ランナーズ 7位 川茂

ぐるっと
250キロ

第2回 佐渡市畑野地区駅伝大会

畑野

10月10日(月)、第2回佐渡市畑野地区駅伝大会が行われ、畑野地区内の14.4キロメートル(6区間)を、31

チームがタスキをつなぎました。号砲とともに一斉にスタートしたランナーたちは、沿道からのたくさんの声援に応えながらそれぞれの力走を見せ、日頃の健脚を競い合いました。レースは、「畑野中駅伝部男子A」と「賞金首」の抜きつ抜かれつの激しい接戦。4秒差で「畑野中駅伝部男子A」が見事優勝しました。



見せ、日頃の健脚を競い合いました。レースは、「畑野中駅伝部男子A」と「賞金首」の抜きつ抜かれつの激しい接戦。4秒差で「畑野中駅伝部男子A」が見事優勝しました。

ぐるっと
250キロ

羽茂ウォークラリー大会

羽茂

10月10日(月)羽茂地区公民館をメイン会場にウォークラリー大会が開催されました。

今年は爽やかな秋晴れの中、18チーム85名が参加し各選手はチームワークを活かして作戦を相談しながら優勝を目指しました。得点は「スタート問題」「クイズ得点」「ゲーム得点」「宝探し得点」「タイム得点」の総合得点で順位が決定し3位まで表彰されるため参加者は真剣にチャレンジしていました。



ぐるっと
250キロ

「元気・ふれあい・夢」まつり

本町市に歩行者天国

佐和田

10月15日(土)第2回佐渡市健康フェスティバルがア

ミューズメント佐渡で開催されました。オープニングには河原田諏訪神社氏子会子供鬼太鼓が披露され、館内には太鼓の音が響き渡りました。健康茶と人参ケーキなどで「ちょっといっぷく元気茶屋」のコーナー、島の子供たちの夢を集めた「未来にはばたけ子供の夢」コーナー、また、日赤コーナーでは災害時用の炊き出し訓練の試食もありました。「元氣とどけ隊」と題して地域で頑張っている人達の商品販売も行われ「元氣・ふれあい・夢」を感じた一日でした。また、この日は河原田本町市も開かれ本町十字路から諏訪神社までの間が歩行者天国となり、路上には沢山の店が出店しフリーマーケットも行われました。



毎月第三土曜日に開催される河原田本町市は今年5周年を迎えました。その記念イベントとして実施した歩行者天国は生憎の雨模様でしたが大勢の人でにぎわいました。

ぐるっと
250キロ

国の重要無形民俗 文化財をこの目で

両津

佐渡人形芝居発表会

大夫の三味線に合わせ、使い手が人形を操る。

10月16日(日)、佐渡島開発総合センターにて、第19回佐渡人形芝居発表会が開催されました。

この催しは、昭和52年に国の重要無形民俗文化財に指定された人形芝居を多くの方に触れてもらおうと、島内で活動する人形芝居座が参加し、芝居を披露しているものです。

当日会場には芝居を一目見ようと多くの人が集まり、大夫と呼ばれる語り手の演奏と感情のこもった語りや、使い手と呼ばれる人形遣いの無駄のない動き、その見事な連携に、芝居が終わるごとに会場からは盛大な拍手が起こっていました。



ぐるっと
250キロ

真野地区小学校 交流すもう大会

真野

10月16日(日)秋晴れのもと「真野地区小学校交流すもう大会」が、新町大神宮すもう場で開催されました。

自分のしこ名を考えるこの大会では、珍名力士が毎年多数出現し、呼び出し時のユニークなしこ名に場内からは笑いがおこっていました。途中、太鼓の音とともに新町まつりの「たかみ獅子」が勢いよく場内に現れると、児童たちは大喜びしていました。また、土俵際の激しい攻防など、場内をわかせる好取組みが続出し、大会は大いに盛り上がりました。



ぐるっと
250キロ

第26回 新穂地区駅伝競走大会

新穂

10月16日(日)新穂地区のアスリートが待ち焦がれた新穂地区駅伝競走大会の日。健康の為と言いながらも内に闘志を燃やして大会の朝は他チームの探り合いが行われ、スタートの合図で表向きの言葉とは明らかに違うスピードで駆けだす選手が目立ちます。

新穂地区は10月になると蛍のようにハザードランプを点灯した車をよく見かけます。チーム一丸となって最後までタスキを繋ぐという駅伝大会は新穂の風土にあった馴染みある伝統的な大会なのです。今年42チームが参加し、235名の選手が快走しました。一般男子の部は昨年に続き青木チーム、壮年の部はひげ、一般女子の部は新穂小Pかたつむりが制し、連覇への誓いを固めていました。



繋ぐという駅伝大会は新穂の風土にあった馴染みある伝統的な大会なのです。今年42チームが参加し、235名の選手が快走しました。

一般男子の部は昨年に続き青木チーム、壮年の部はひげ、一般女子の部は新穂小Pかたつむりが制し、連覇への誓いを固めていました。

ぐるっと
250キロ

人間万燈まつりで 佐渡を大アピール

両津



10月22日、23日の2日間、人間万燈まつり交流団が、姉妹都市として交流のある埼玉県入間市で佐渡を大いにアピールしてきました。まつりでは、「鷲崎鬼太鼓保存会」が鬼太鼓を、「両津しぐれ会」が民謡を披露し、会場を大いに盛り上げました。また佐渡物産展の会場では、佐渡の海産物、農産物、地酒などが販売され、全てが完売となる盛況ぶり、特におけさ柿は2日間とも開店1時間も経たないうちに売り切れとなるほど大盛況でした。来年は交流20周年の節目を向かえますが、この交流の輪がますます大きくなることを期待しています。

ぐるっと
250キロ

いつまでもお元気で

第33回両津地区高齢者福祉大会

両津

10月20日(木)佐渡島開発総合センターにおいて、第33回両津地区高齢者福祉大会が開催されました。午前中の式典には、老人クラブ等の会員として永年活躍し功績のあった6名の方が表彰され、また結婚50周年を迎えた金婚夫婦33組が紹介されました。またその後は、「NPOお笑い事業団ニイガタ」の専務理事である袖山由美子氏から「笑って健康大作戦」と題して記念講演があり、日常生活の中で笑うことの大切さについて講演されました。

午後からは芸能発表会が行われ、7つのクラブからカラオケや踊りなどが披露されました。会場に訪れたみなさんは表情も晴れやかに楽しく一日を過ごしたようです。



ぐるっと
250キロ

第18回 佐渡トライアルフェスティバル

畑野

10月23日(日)畑野地区を会場にオートバイの操縦技術を競う第18回佐渡トライアルフェスティバルが開催されました。今年も金山クラス(腕に自信がある人向け)と、ときクラス(初級者向け)に県内外から多くの選手が参加し、雨天で滑りやすくなったコースにも怯むことなく挑戦していました。



大会結果(優勝)
金山クラス 石川英治さん(埼玉県春日部)
ときクラス 伊藤泰則さん(愛知県知多市)

ぐるっと
250キロ

佐渡おけさ全国大会

相川 10月23日(日)佐渡会館を会場に、600人の観衆の前で佐渡おけさ日本一を競いあいました。

<一般の部>

・優勝 桑山トモ子さん(新潟市)・準優勝 田村美紀子さん(北蒲原郡聖籠町)・3位 中川冬樹さん(佐渡市北片辺)

<ジュニアの部>

・優勝 西野未来さん(佐渡市羽茂大石)・準優勝 中川修司くん(佐渡市羽茂三瀬)・3位 天澤香里さん(佐渡市羽茂本郷) 参加出場者は次のとおりです。

<一般の部> 33名(男性13名、女性20名・島外参加者24名)・最年長75歳、最年少15歳 <ジュニアの部> 19名 ・男子3名、女子16名(すべて佐渡市内)・最年少9歳(4名)



ぐるっと
250キロ

広域農道佐渡線竣工

真野 10月25日(火)広域農道佐渡線の完成を記念し、真野御陵橋を会場に竣工式が行われました。神事式・式典には関係者約100名が出席し、テープカット、くす玉割りの後、地元の三世代夫婦、畑野小学校マーチングバンドによる渡り初めが行われました。この農道は真野地区から畑野・新穂を通り両津地区にいたる全長19.5キロメートルで、昭和52年の着工以来29年の歳月を要し、完成しました。これにより、大型車両の運行が可能になり、農産物の迅速な輸送、カンントリーエレベーターやライスセンターをはじめとした集出荷施設を結ぶ幹線農道として、また沿線には多数の名所旧跡が点在しており、観光の発展にも大きな期待がかかっています。



ぐるっと
250キロ

第33回 佐渡地方植樹祭 佐和田



晴天に恵まれた10月27日(木)第33回佐渡地方植樹祭が行われました。

今年は佐和田地区が会場となり、オートパーク佐和田に関係団体、緑の少年団など約300人が植樹しました。まず、2本のアテビが特別招待者の方々によって植えられ、その後木の名前や植え方などの説明を受けた後、緑の少年団や参加者がタブの木、ケヤキ、ナナカマドなど6種類の木を植え込んでいきました。アミューズメント佐渡での式典では、緑化功労者表彰などに河内生産森林組合、八幡銀杏の会、佐和田緑の少年団、佐渡市山田の湖屋茂男さんがそれぞれ受賞され、また、テーマ作成者、ポスター作成者表彰には佐和田中学校1年の大坂知代さん、明田川咲季さんがそれぞれ受賞されました。

また、先に募集した兼題句には、全国から八百句を超す応募があり、ここでも佐渡勢が大賞を独占し、佐渡のレベルの高さを証明しました。

ぐるっと
250キロ

紅葉山まつり 畑野



紅葉の見ごろをむかえた紅葉山公園で、10月30日(日)に第21回紅葉山まつりが開催されました。天候にも恵まれ、会場は大勢の人で賑わ

い、秋の味覚と各種催し物を楽しみました。メインイベントの「マツタケ狩り大会」では、本物の松茸が隠されているとあって、我先にと必死になって探す姿が見られたほか、柿の皮むき大会やダーツゲームも大変盛り上がりしました。また、佐渡お笑い親善大使「子宝」のミニライブや豪華景品が当たるお楽しみ抽選会など、秋の風情溢れる紅葉山公園で楽しいひとときを堪能しました。

ぐるっと
250キロ

小木

第24回 佐渡小木全国俳句大会開かれる (小木あゆす会館)

10月16日(日)、第24回佐渡小木全国俳句大会が開催されました。島内外から60人の俳句愛好者が集まり、「童子」主宰の辻桃子先生の講演を聞きまし、当日募集の吟行句には80句の応募があり、「佐渡小木吟行大賞」に次の句が選ばれました。

今朝捕れし尾花の蜻の千されけり

佐渡市 佐藤喜寿

また、先に募集した兼題句には、全国

から八百句を超す応募があり、ここでも

佐渡勢が大賞を独占し、佐渡のレベルの

高さを証明しました。

佐渡小木俳句大賞(講師特選)

井戸替や様子下りゆく男たち

佐渡市 小田昭郎

小木俳句協会大賞(最高点)

盆の井戸死者へ生者へ汲上ぐる

佐渡市 藤井美智子

他の入賞者は次の通りです。

佐渡市長賞(高点二位)

吊されて鉸鯨らしくなりにけり

上越市 小出和成

佐渡観光協会賞(高点三位)

この島のいづくに暮らしても涼し

新潟市 古沢俊輔